

AAMA(アメリカ建材 製造業協会)

試験項目	試験方法	要求性能		
		AAMA2603	AAMA2604	AAMA2605
塗膜厚	ASTM D 1400 過電流方式	測定箇所80% 膜厚20%以上 17μ以上不可	測定箇所80%は最低 30μ、25μ以下は不可。 上塗り膜厚最低25μ、 下塗り7.5±2.5μ	同左
処理皮膜量	ASTM D 5723 蛍光X線法		クロム含有転換 皮膜量は最低323mg/㎡以上	クロム含有転換 皮膜量は最低431mg/㎡以上
光沢	ASTM D 523による60度グロス	メーカー規格の±5		
塗膜硬度	ASTM 3363 鉛筆引っ掻きによる破れ	H以上		
乾燥塗膜密着性	1mm間隔で11本の平行線及びこれと直角に交わる同数の線	テープ剥離がない事及びテストパネルにプリスターが生じない事		
湿潤塗膜密着性	上記の線引き後38℃の蒸留水又はイオン交換水に24時間浸漬	テープ剥離がない事及びテストパネルにプリスターが生じない事		
沸騰水密着	沸騰水(99~100℃)・20分浸漬		同上	
衝撃試験	直径16mmの円形試験機、 18N・mガードナー衝撃試験機	塗膜剥離がない事		
耐摩耗性試験	ASTM D968による落下砂方式		摩耗計数20以上	摩耗計数40以上
耐薬品性 塩酸試験	塩酸溶液10%、10滴・15分放置	プリスター・外観変化なし		
耐薬品性 硝酸試験	70%硝酸に30分浸漬、1時間 放置し色差測定		ASTMD 2244法で△E5以下	
モルタル試験 24時間PatTest	石灰75・乾燥砂25のペース塗布。 38℃・100%相対湿度の中に24時間	目視観察による密着性低下や外観変化も無い事		
耐洗剤性	3%洗剤 38℃溶液に72時間浸漬	剥離、プリスター著しい外観変化なし		
ガラスクリーナー性	所定のクリーナー10滴垂らし、 24時間後水道水洗浄		プリスター、顕著な外観変化が無い。 クロスカット部テープ剥離なし	
耐湿性	ASTM D 4585 38℃・100%	1500時間後ASTM D 714 でNo,8 Few以下	3000時間後ASTM D 714 でNo,8 Few以下	4000時間後ASTMD 714 でNo,8 Few以下
塩水噴霧試験	ASTM B 117 5%塩水試験後カット部テープテスト	1500時間後、剥離は カット部2mm、平面部3 mm以下	3000時間後、剥離は カット部2mm、平面部3 mm以下	4000時間後、剥離は カット部2mm、平面部3 mm以下
耐候性 促進耐候性	ASTM D 82による アトラス1000時間	密着低下なし、僅かな チョーキングや色相変化 及び水汚れのみ		
耐候性 屋外暴露	南フロリダ暴露	1年後キズ、ヒビ又は テープによる密着低下 がなく、僅かな退色や チョーキングである事	5年後ASTM D 2244の 6.3法測定で△E5以下 光沢保持率30%以上	10年後ASTM D 2244の 6.3法測定で△E5以下 光沢保持率50%以上
耐チョーキング性	同上		5年後ASTM D 4214、テ スト方法A(方法D659)に よる測定でNo,8以下	10年後ASTM D 4214、 テスト方法A(方法D659) による測定でNo,8 以下
光沢保持率	同上		5年後ASTM D523によ り30%以上	10年後ASTMD523によ り50%以上
塗膜減耗率	同上		5年後ASTM B 244法で 膜厚ロス10%以下	10年後ASTM B 244法 で膜厚ロス10%以下

※要求性能で\は規定なし

※試験項目・塗膜厚の数値は規格に溶剤塗料も含まれている為、掲載数字となる。